



安川雅史先生講演会

演題「ひきこもりの理解と支援」

冬晴れの暖かい2月13日(月)サニープレイス座間で10時から講習室で開催しました。昨年、3月に佐々木正美先生の講演会を開催し大好評でしたが、その折に、今回は現場をご存知の講師にとの推薦があり、相談活動を全国規模で実践なさっている安川雅史先生をお願いいたしました。豊富な、事例を基に誰もが納得いく講話で「良かったね」の声でした。是非、再度聞きたい、特に学校の先生に聞いてほしいとのこと。終了後の参加者同士の話題に今後の繋がりへの期待が語られました。



安川雅史先生

参加者の声

遠く横浜や近隣の方15名の参加をいただき関心の深さがうかがえました。

「笑顔、子供の受け入れ、お母さんが元気である事……等 夫婦二人三脚でわが子を見守る事がやっとなできるようになったこの時に、講演を聴き力水いただきました。



「学校や、教育センター等いろいろ相談してきたが、具体的に踏み込んだ内容の講座だったのでとてもうれしく思った。」

「学校の先生方にも是非、安川先生の講演を聴いてもらいたい」

「親になる事の大変さを実感し、母親である自分が影響して、子供を苦しめている事が多々あると感じつつ、どうしたらよいか

一番ほしかった対策が分かりやすく聞けてよかった。」

「不登校が始まったばかりで、子供にどう対応していったらよいのか、とても迷っている時期だったので、事例を含め直接当事者やその家族に関わってきた先生の話はとても参考になった。」

「親の接し方次第という事がよくわかった。」

「気をつけようと思っているのに、言わなくてもいい事まで言ってしまう。反省しつつ、明るい未来の為に、いろんな人の話を聞いて親も日々勉強です。」

「家族は社会の原点であり、そこが安らぎの場所であり、たまには皆で大笑いできる雰囲気が大切なのかもしれません。安川先生のお話の中に、何とかしてあげたいという気持ちをもった第三者の呼びかけも必要な場合があるということが、心に残りました」

笑顔、言葉かけ、手紙・メール（非言語会話）、受け止め等親自身易しそうでなかなかできないという事がキーワードのような気がします。あすなろの活動に興味を持っていただき、是非自分の勉強の為にもお手伝いしていきたいという嬉しい申し出もありました。一歩ずつ皆で力をあわせ、前向きに進んでいけたらと思います。

